

次に、議席1番、齊藤哲生君。

〔1番 齊藤哲生君登壇〕

○1番(齊藤哲生君) 皆さん、おはようございます。本日は本当にお忙しい中、こんなにたくさんの住民の皆さんにこの議会に参加していただき、本当にありがとうございます。身の引き締まる思いでございます。それでは、議長より発言の許可をいただきましたので、議席番号1番、齊藤哲生、通告書に従い、地域の活性化について二つのテーマを取り上げてお伺いさせていただきたいと思っております。

まず初めに、平成17年3月に策定されました「境町中心市街地活性化基本計画」の動向について確認させていただきます。この基本計画は、中心市街地の活性化に取り組む市町村などを強力に支援することを目的に、平成10年7月に制定された「中心市街地における市街地の整備改善、及び商業等の活性化の一体的推進に関する法律」、俗に言います中心市街地整備改善活性化法でございますが、これに基づき策定されたものであり、また平成15年3月に策定されました第四次境町総合計画の中でも基本構想により記されました産業分野に関する基本施策、商店街の基盤整備に記されました境町商店街近代化基本計画の推進、商店街修景事業の推進と並ぶ具体的施策の一つであるとともに、同じ年の8月に制定されました境町都市計画マスタープランに掲げられております利根川の自然を生かしながら、人とまちが生き生きと輝く中心市街地の形成にも共通するものであります。

そしてこれは、今後の土地地区画整備事業、市街地再開発事業、道路、駐車場、公園等の都市基盤施設整備などの市街地の整備改善に関する事業、魅力ある商業集積の形成、都市型新事業の立地促進など商業等の活性化に関する事業、その他必要に応じて公共交通の利便性向上、電気通信の高度化等に関する事業等の施策を住民、事業者、行政が一体となり、総合的に推進していくための指針となるものでもあります。

中心市街地は、古くから商業、業務などのさまざまな機能が集まり、人々の生活や娯楽や交流の場となり、また長い歴史の中で独自の文化や伝統をはぐくむなど、そのまちの活力や個性を代表する場所でもありました。しかし近年、多くの地域でモータリゼーションの進展への対応の遅れ、商業を取り巻く環境の変化、中心部の人口の減少と高齢化などを背景に、中心市街地の衰退、空洞化という問題が深刻化しております。これは全国的に言えることです。これらを踏まえ、この「境町中心市街地活性化基本計画」の進捗状況及び今後の展開についてご答弁願います。

そしてもう一点、観光資源の活用について。今回は、1年前、昨年9月の一般質問でもお尋ねしましたが、利根川川岸に浮かぶ高瀬舟「さかい丸」と道の駅に展示してある高瀬舟について改めてお伺いします。

ご周知のとおり、この高瀬舟はこの境町が江戸中期より明治にかけ、利根川水運において大きな役割を果たしてきた河岸や宿場町として栄えた歴史的資源の象徴であり、平成10年5月に乗船運航が開始されたこの「さかい丸」は、境町、五霞町、野田市、そして国土交通省で構成されている川の町ネットワーク計画において関宿城博物館とともに3市町を結ぶ重要な役割と位置づけられています。今後については、できる限り経費の削減を図りながら、地域に親しまれる高瀬舟「さかい丸」の運航に努力していきたいとの昨年のご答弁もありましたが、その後の動向について改めて確認させていただきます。

また、道の駅に展示してあります高瀬舟についても、今後もう少し修復を考慮した中、検討してまいりたいとのことでしたが、こちらについても再度確認させていただきたく思います。

以上、大きく二つの点についてご答弁願います。以上です。

○議長（齊藤政一君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

町長、野村康雄君。

〔町長 野村康雄君登壇〕

○町長（野村康雄君） 齊藤議員さんのご質問にお答えをさせていただきます。

地域活性化ということで市街地活性化基本計画、これ私も長いこと商工会の役員をお世話になっていましたので、たしかこれで3回目ぐらい多分つくっているのではないかと、このように思っております。その都度、果たして絵にかいたもちになってしまうのではないかとという提案も、商工会の理事会等でもやらせていただきましたけれども、今回また国の施策の中でそういうものをつくりなさいということで作成をしたわけであります。

活性化につきましては、これ非常に難しい、議員さんおっしゃるとおり、全国的な問題の中で、まず後継者をどうするかという問題を含めて、やはりやっていかなければいけないと思っています。今商工会の方でも青年部の活動が非常に活発になってまいりました。そういう中では若い人たちがやはり町の中心街を何とかしようと、そういう機運も上がってきておりますので、商工会等と相談しながらやっぱりしっかりと進めていきたいと。

細かい内容につきましては、産業建設部長の方からこの基本計画等については答弁をさせていただきます。基本的にはそういう考え方で今後とも商工会と話し合いながら、やはり町の活性化を進めていきたいと考えておりますので、ぜひご理解とご協力をお願い申し上げたいと存じます。

道の駅さかいの船「さかい丸」、さらには今運航しております高瀬舟でありますけれども、実はあれは前にもお答えしたと思うのですけれども、皇太子のご成婚記念ということで川辺整備事業ということで国の事業で、当時たしか15億円ぐらいあそこに投入をされております。そのときに境町で船を運航するという条件があったそうでありまして、対岸にも2カ所ほど船着き場がつけられました。これは昔ですと建設省、今の国土交通省の事業で行ってございましたので、その当時、昨年質問のときでしたでしょうか、廃止というものも含めて考えてもいいのではないかと思います。国土交通省の方ではそういうことで国が整備をしたところなので、ぜひ運航していただきたいというご要望もありまして、今続けているところです。

ただ、今回何かまたエンジンもちょっと調子が悪いという話も聞いておりますので、また国土交通省と話し合いながら、果たして運航することに、正直言って数字的なメリットというのは何にもありません。ただ、境町のアピール、船を運航しているということ、ホームページでも載っておりますし、時には遠くの方からも見に来てくださる方、乗ってくださる方もいますので、そういう効果を踏まえて今後検討していかなければいけない時期だろうと、このように考えております。これは廃止も含めて考えなければいけないのかなとは思っておりますけれども、そのときには今申し上げましたとおり、議員の皆さん方あるいは商工会の皆さん等とも意見を調整しながらやっていきたいと思っておりますので、そのときにもぜひご理解とご協力をお願い申し上げたいと、このように考えております。

道の駅の船については、大分あれはふるさと祭りのパレードに昔3年間ぐらいたしか子供たちが引いて動かした経緯がございます。それがパレードに使われなくなりまして、あそこにシンボリックなものとして飾ってあるのですが、大変古くなりましたので、撤去するかあるいは塗装等塗りかえしてやるか、

これらも今後の検討して来年度にはやっぱりどちらかの形をつくっていきたいと、このように考えておりますので、ご理解のほどお願いしたいと思います。

なお、数字的なもの、その他につきましては産業建設部長よりお答えいたしますので、よろしくご理解をいただきたいと存じます。

○議長（齊藤政一君） 次に、産業建設部長。

〔産業建設部長 齊藤時雄君登壇〕

○産業建設部長（齊藤時雄君） 皆様、おはようございます。それでは、齊藤哲生議員の地域活性化についてのご質問にお答え申し上げます。

まず、境町中心市街地活性化基本計画の進捗状況と今後の展開についてのご質問でございますが、これは国において平成10年7月に「中心市街地活性化法」が施行されまして、境町もそれにのっとり国の方針を受けつつ、安全で快適な買い物空間の条件整備を図り、魅力ある商業環境を形成するため、また大型店と既存の商店の機能を充実させるため、その施策を盛り込んで境町中心市街地活性化基本計画を平成17年国の補助事業を受けまして策定しております。

本事業は、昨今の社会環境や複雑化する住民の要望を考慮しつつ、市街地の整備、商店街の再生活活性化のために、住民、事業者、行政が一体となり、総合的に推進していくことを目的としたものでございます。中心市街地は、これから豊かな地域社会を形成していく上で、大切な役割を果たすとともに、境町の顔として魅力あるまちづくりを進める必要があります。現在商工会においてはこの事業の一端としまして県の補助を受けまして商店個々の特色を生かした「一店逸品運動」を行っております。これは、平成16年より推進しているところでございます。

また、県の補助事業として商工会で村おこし事業ということがありまして、その中で商工会塾ということで、いろんな講師の方を招きまして、各商店街の代表の方に講演を行っている事業もございます。そういう観点から今後商工会、関係機関、団体と一体となり、境町の商工業の活性化を総合的に推進してまいりたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

次に、観光資源の活用についてのご質問でございますが、高瀬舟は平成9年度より国の補助事業を受けまして、事業名が境町水辺整備事業として、その一環として運航しているところでございます。利用状況につきましては、17年度では、これは高瀬舟は4月から9月までの間の運航となっております。17年度におきましては2,123名でございます。ことしに入りまして8月31日現在、あと1カ月程度で運航は、今月いっぱい運航は中止になるのですが、8月31日現在で1,703名の方が利用してございます。特にこの利用が多いのは、河川敷を利用して菜の花フェスティバル等、それからその時期にゴールデンウィーク中にもありますので、大体4月、5月の利用が多いという、多くの方に乗船していただいております。

また、道の駅でございますが、先ほど道の駅もやはりもう10年経過しております。本年10月に10周年を迎えて、3日間イベントを実施する予定になっております。特に最近地場製品の販売を行っているところでございますが、各農家の方、生産者にご協力いただきまして、地域の方々はもちろんのこと、通過車両の方々にも大変喜んでいただき、ご利用いただいているところでございます。今後この道の駅、高瀬舟につきましても、より多くの方に利用していただけるように積極的にPRをするように努めてまいりたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

また、道の駅前駐車場にございます、先ほど町長からも答弁がありましたように、これはふるさと祭りの歩行者天国のときに子供たちに引いていただきました高瀬舟が現在使われておりませんので、道の駅に飾ってあるわけなのですけれども、これ昨年も先ほど議員さんからもご指摘がありましたように、昨年の9月にもご質問がありまして、それで検討した中で対応はしたいということでございますので、今回も先ほど町長の答弁にもありましたように、処分かまたは修復するか、早急に対応させていただきたいと思っております。検討でなく対応させていただきたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしく願い申し上げます。

以上でございます。

○議長（齊藤政一君） ただいまの答弁に対し再質問ありますか。

1 番， 齊藤哲生君。

○1 番（齊藤哲生君） それでは、もう少々お伺いさせていただきたいと思っております。

まず、中心市街地活性化、こちらの点になります。先ほど町長もおっしゃられておりましたけれども、本当絵にかいたもちになってはいけないと思っております。と同時に私はじっくり見せていただきましたが、たくさんの施策、方策が記されております。このもち、すごくおいしいおもちです。一つでも多く食べたくなるおもちと私は理解しております。その中テーマ、基本理念の中にひとつ本当は優しい、本当は温かい言葉が記されておりましたので、申し上げたい。本当に「結いのまちさかい」、この基本テーマ、基本理念としてこちらが掲げてありました。本当に温かい言葉、そして大切な言葉だと私も理解しております。結ぶということ、その中には大きく二つに分けますと、歴史、過去と現在、それに結ぶのは高瀬舟が一つの象徴であると思っております。

そしてまた、人と人を結ぶ商店街、そして大型店を結ぶという結ぶ、もう一つだと思っております。その二つを少々取り上げさせていただきますと、このいろいろ企画の中にも地域を結ぶということで、回遊できる町を創造したいというところがひとつ目立ったというふうには思います。商店街の駐車場五つあるというふう聞いておりますけれども、その利用はどうなのでしょう。

また、この商店街高齢な方、やはり子供さんにとっても本当にちょっと走りづらい、自転車の方々、歩行者には本当にちょっとつらいというような環境もあります。それについてもこの施策の中には、本当にありがたいことに盛り込まれておりました。ぜひ歴史とともにその回遊性、この中には消費者のアンケートも出ております。やはり同じようなことが住民の方々からも取り上げられております。少々見させていただきますと、安心安全が今叫ばれております。ぜひその今2点ほど挙げさせていただきましたけれども、その点についてももう少しコメントいただければ幸いに思いますので、よろしく申し上げます。

また、もう一つ「さかい丸」、高瀬舟についてです。こちら町長のご答弁にありましたホームページ、私もパソコンの方でインターネットをつながせていただいております。いろいろ見てみますと、ふと検索エンジン入れれば出てきますけれども、その中「高瀬舟」というふうなものを入れてみました。そうしますと、本当にインターネットというのは日本全国はもちろん、世界までつながりますけれども、「高瀬舟」と入れて出てきたページに境町の高瀬舟の写真が載っています。そして、この境町というのはどこにある、どういうふうに行けばいい、それまで詳しく載っています。本当にすごいPR、なかなか企業等を見ますと一番トップページに載せてもらうのは、相当な資金なり経費なりかかりますけれども、そこに載せて、どういうふうな陰で苦労があったかちょっと私も今定かではないので、申しわけな

いのですけれども、この絶大なPRをしています。ぜひ廃止もひとつ検討材料、確かにありますが、町の歴史を大切なものとしていま一度検討いただければありがたいと思います。それについては道の駅の高瀬舟も一緒ですので、ぜひその辺を踏まえてもう一度お答えをお願いします。

以上です。

○議長（齊藤政一君） ただいまの再質問に対し答弁を求めます。

町長，野村康雄君。

○町長（野村康雄君） 齊藤議員さんの再質問にお答えをさせていただきます。

回遊道路と申しましょうか、いわゆる町の中を回れるようなそういうシステムということになるかと思うのですが、これ私も商工観光課の方とも話をするのですが、やはり境の名店というものを選んで今「一店逸品運動」をやっていますけれども、ああいうものが回遊できるようなそういうシステムはどうだろうという話をしたこともございます。そういう意味では、やはり境というのはそういう私は商圈としての境町というのは、正直言って近くに決して負けないものがあると思っております。キンカ堂にしましてもサティにしましてもマスタにしましてもカスミにしましても、これだけの人口の町、あれだけの店が出てくるわけですから、人を集めるいわゆる商圈としての境町の価値観というのはまだ昔からのブランドとして残っているであろうと、こう思っておりますので、そういう意味ではやはり各商工会、商店街の皆さんも努力をすれば何とか生き残れる部分もあるのではないかと、こう考えております。

ただ、旧市街地の問題というのが、先ほど議員さんも申しましたが、これ全国的にもう駅前の商店街が破滅してしまう、そういう状況にあることもまた現実でありますので、道路をやっばり何としてもいわゆる本人がここでやっていくのだという意識がない限り、これ道路整備しても何していてもお金がかかりますし、セットバックして岩井市のようにつくるのには、それぞれが相当の借り入れをしてやっていかなければならないという状況もありますので、そういうものもやはり個人の商店の皆さん、そして商工会の皆さんがやはり十分協議した上でなかなかやっていかないと、現実的には非常に難しい課題でもないかと、このように考えております。ただ、いずれにいたしましても商店のやっばり活性化というのは必要でありますし、先ほどこの中心市街地の基本計画、これは確かに前々からもう3回ぐらいつくっているのですよ。私いつもこれ絵にかいたもちになるから、つまらないからやめなさいと提言していたのですが、また例えば船戸のもセットバックして古い街並みをつくるなんていう計画ができていますけれども、ではあそこでだれかやる人いますかといったらだれも現実的にはやれないという、これ現実といわゆる理想とのギャップというのが物すごく旧市街商店街については大きいという、そういうこともありますので、あれが全部実行できるというのはなかなか難しいかと思うのですが、これやはりそれぞれの皆さんと相談をしながら進めていきたいと。議員さんも商工会の役員さんという立場もあると思いますけれども、若干でありますので、ぜひそのときにはご協力をいただきたいと、そのように考えております。

高瀬舟については、全く私もそういう認識も持っております。先ほど申し上げましたとおり、町の象徴的、歴史的な、いわゆるシンボリックな役割もありますので、廃止もというのはそういう声も結構来ていることも事実なのです。住民の方からももうむだだから廃止したらどうだとか、そういう声もありますので、そういうものも含めて検討するというところで、私個人としては議員さんと全く同じシンボルと

しての、もう利益云々ということではなくてやっぱりやっていきたいとは気持ち的には思っております。そういうものも含めて今後協議していきたいと思っておりますので、ぜひご理解をいただきたいと存じます。

○議長（齊藤政一君） ただいまの答弁に対し再々質問ありますか。

1 番， 齊藤哲生君。

○1 番（齊藤哲生君） 町の活性化，中心市街地活性化というのは，先ほど町長も答弁ございましたけれども，最も大事なのは個々の商店，消費者自身の皆さんの努力と自己改革，商業意識の再認識ということだと思います。でも，なかなか本当に今こういう時代，後継者の問題等も出てきたりしておりますけれども，本当にぜひそれを町行政としてサポート，サポートになると思います。町がどうしろ，町がどうしろというのはおかしな話でありまして，その根本にはそれぞれ個人個人の努力なり，考えがあるものです。ぜひ町行政としましてもそれをフォローする，また手助けする，手を差し伸べていただきたい，サポートいただきたいというのが私の思いであります。これについては答弁要りませんので，ぜひ私の意見として申し伝えさせていただきます。

「さかい丸」も本当にいい，もう既にあるわけです。今ゼロからスタートというのは，本当に大変なことですし，今の時代できません。経済も上向き，好景気に入っているというふうなところも聞きますけれども，まだまだこの地域そこまでは達していないような気がします。既にあるものすべてについてこれについては，前回は申し上げさせていただきましたけれども，あるものは大切に，そして伸ばしていくのも一つです。もったいない，もったいないというふうな言葉が，今ちょっと前になるかもしれませんが，ささやかれていました。本当にもったいない，その精神は私大切にしたいと思っております。ぜひそれを含め今後町の対応，活性化について元気な町，元気づくりしていかなければいけないと思います。それぞれが人任せではなく，それぞれの立場，行政，民間，企業，それぞれの立場で一体となって進めていくのが何よりも大切なことですので，それについてもぜひ町側のアドバイスをよろしく願います。

以上答弁結構ですので，私の思いで閉じさせていただきたいと思っておりますので，よろしく願います。以上です。

○議長（齊藤政一君） これで齊藤哲生君の一般質問を終わります。